

KSA プロジェクト(韓国)

工学部工学科社会デザインコース 3回

石崎名美

留学先：韓国 蔚山大学校 建設環境工学部

留学期間：4 か月間

実施年月：2022.8.24～2022.12.27

私は今回、韓国にある蔚山大学校へ4か月間、交換留学という形で留学しました。留学に行こうと思った理由として私は将来、航空管制官になりたいという夢を持っています。航空管制官は主に英語を使う仕事であり、国家試験に合格することは非常に難関であると言われています。幼いころから抱いていた夢の実現のため、説明会でのKSAプロジェクトのお話を聞き、入学当初から留学したいと思っていた私にとって今しかない大きなチャンスであると思い、参加しました。

また、蔚山大学校の教育目標は「サービス」、「創造的な探求心」、「有能な技術者」などの資質を備えた人材の育成です。蔚山大学校の方針は愛媛大学の教育理念と非常に似ているところがあり、日本だけでなく韓国でも同じ目標を目指す仲間と一緒に学びたいと強く思いました。また、韓国は日本に比べて文化や技術など優れている点が多く、近くの国だからこそより多くのことを吸収できるのではないかと思い、蔚山大学校を選びました。

蔚山大学校ではすべて英語で開講される授業を受講しました。「国際理解」、「グローバル戦争戦略」、「国際ビジネス」の授業ではアメリカ人とイギリス人の教授とともに様々な国の生徒と一緒に授業を受講しました。他のほとんどの生徒は英語を理解できますが、専門的な英語は理解が非常に難しく、毎日の予習復習が大変でした。また、課題やテストも英語で行われるため一から単語を学習し単位取得に努めました。「大気汚染防止工学」の授業

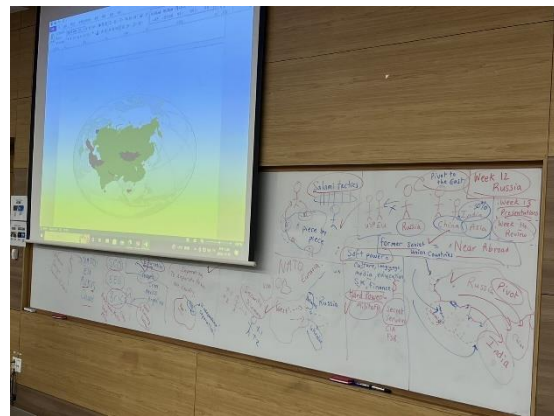


写真1 「国際理解」の授業風景

は私が専門的に学習してきた内容でしたがレベルが高く、愛媛大学では学ぶことのできない韓国でのPM2.5に対する認識などを知ることができました。韓国のほとんどの授業ではテーマが課せられ、プレゼンテーションを行いました。専門的なテーマを英語の文献からパワーポイントにまとめ、発表することは難しく、英語力が伸びるいい経験になりました。また、他の生徒のプレゼンテーションは分かりやすく、発表も簡潔にまとめられており、見習うところが多くありました。外国人特有の時間を気にしなかったり意見をはっきりと伝えたりする性格や教授の生徒も巻き込んだ授業方法など日本では経験することのできない異

文化体験ができました。また、言語が通じないからと差別をしたり教えることを怠ったりする教授は一人もおらず、逆に例を多く出してわかりやすい解説を心掛けてくださったり、多くのジョークで授業を楽しいものにしてくださったりしていただき、4か月間前向きに授業に参加することができました。

韓国留学で一番思い出に残っていることは現地の韓国人学生といろいろな場所へ遊びに行ったことです。何一つわからない私にバスの乗り方や食事のマナーなど多くのことを教えてくれました。特に私は有名な韓国料理から現地で初めて知った料理などたくさんのもを食べました。その中でもジャガイモチヂミや海鮮チヂミなどのチヂミは日本のモノと違いすごくおいしかったのを覚えています。



写真2・3・4 チヂミ・ビビンバ・クッパブ

韓国人の友人と最初は会話をするのも難しくジェスチャーだけで雰囲気を感じ取っていましたが遊ぶ回数が増えるたびにお互いの言語を理解し、諦めずに分かち合うことで多くの経験と大切な友人を持つことができました。また、同じ時期に来た日本人留学生と一緒に代表的な観光地へ訪れ、外国の雰囲気を味わうこともいい思い出になりました。

他にも、外国人留学生と現地学生が2対2でグループをつくり3回ほど一緒に活動を行うことで異文化交流をする BODDY.U という活動に参加しました。年齢や性別がそれぞれ違う韓国人の人と初めて会話をするのは非常に難しく緊張をしましたがそれぞれの文化を



写真4・5 BODDY.Uの様子

理解し多くの時間を共有することで言語力はもちろんですがコミュニケーション力を身につけることができました。活動が終わっても個人的に食事に行ったりと友人を増やすことができたため今後もこの活動にたくさんの外国人留学生が参加できたらいいと思いました。

私は留学自体が初めての経験だったため、外国の地で一人で生活することは難しく、大変なことがたくさんありました。まず、留学当初は韓国語がほとんど話せなかったため言語の壁が大きく意思疎通ができませんでした。友人をつくるにも買い物をするにも多くの労力が必要で、最初の頃は同じ時期に蔚山大学に来ていた日本人留学生の助けを借りながら生活しました。同じ言語学習者として見習うことは多く、お互い支え合いながらも日々間近で成長する友人をみると私も努力するきっかけをもらい毎日諦めずに向き合うことができました。韓国へ留学に行ったおかげで切磋琢磨する仲間ができたことは本当に良かったと思います。また、大変だったこととして日本と韓国の文化の違いを肌で直接感じました。特に、交通面では路上駐車が多いことや歩行者が優先されないこと、バスの運転が荒くて危険が多いことなど、日本では常識だと思っていることが世界の常識ではないと感じた瞬間でした。食事面では食事のマナーのほかにも飲食店で食事を全て食べきれない人が多い印象を受けました。これはバイキング形式の学食でも同じ印象で日本は特に食を大切に考えている国だと感じました。また、公共施設や公共交通機関の清潔さや利用の仕方は日本がとて優れている点であると改めて感じました。

私はKSAプロジェクトを通して留学に行ったことで休学や留年をせずに大学のサポートを受けながら安全な環境で生活ができたことは本当に良かったと思いました。また、給付型の奨学金を受給したことで現地でより勉学に励むことができ、同じ目標を掲げている色々な国の学生とともに同じ時間を多く過ごせました。そして、韓国人は勉学への熱量が高く、何事にも恐れずにチャレンジする印象を多く受けました。私も留学をしたことで広い価値観や多様な経験とともに自分がやりたいことを迷わずやり通す力が身についたように感じます。自分が知らない土地で生活することは不安でなかなか勇気が出せませんでした。行ってみると小さなことからすべてが学びで人生の大きな財産になりました。また、日本に帰国した今でも連絡を取り合い、お互いを気遣う外国の友人ができたこともとてもうれしく思います。何もわからない私たち外国人に対して最初から優しく接してくれたことはすごくありがたく、当たり前ではないことに気付くことができました。これから韓国人の学生が日本へ留学をしたときは抵抗せずにこころよく多くのサポートをしていきたいと強く思います。日本以外にまだまだ多くの価値観と世界があることを再認識することができたため、今回の機会を生かして、より勉学に励むとともに多くの国へ更に留学へ行ってみたいと思いました。